

報道関係者各位

令和6年1月31日

赤れんが博物館企画展「令和6年度新収蔵品展」の開催について

令和5、6年度、新たに所蔵した資料を展示する「令和6年度新収蔵品展」を開催しますので、お知らせいたします。

新収蔵品展は、毎年開催しておりますが、令和5年度は新収蔵品が少なかったため、令和6年度分とあわせて、展示するものです。

【1】企画展

- 1 名 称 舞鶴市立赤れんが博物館企画展「令和6年度新収蔵品展」
- 2 趣 旨 令和5、6年度に新たに収蔵した資料の紹介
- 3 日 時 令和7年2月15日（土）～3月16日（日）会期中は無休
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 4 場 所 舞鶴市立赤れんが博物館2階
- 5 入場料 常設展示と共通 一般400円、学生150円
市内学生（在住、在学）は入館無料
- 6 主 催 舞鶴市立赤れんが博物館
- 7 内 容 展示点数 れんが 17点、その他資料 43点
 - ① サウスシー城れんが 1点（イギリス・ポーツマス市）
 - ② 11世紀のれんが 1点、17世紀のれんが 1点（オランダ）
 - ③ 住友重機械工業株式会社横須賀製造所旧浦賀工場「1号ドック」れんが 1点（神奈川県横須賀市）
 - ④ 河村清春氏所蔵鉄道構造物等れんが 6点
 - ⑤ 旧九条山浄水場沈殿池（旧大日山貯水池）れんが 2点（京都市）
 - ⑥ 森永製菓株式会社中京工場トンネルオープンの耐火れんが 5点（愛知県安城市）
 - ⑦ 東次郎吉氏所蔵旧海軍艦艇進水記念絵葉書 20組36点
舞鶴要港部進水式招待状 1点、旧海軍艦艇記録写真 4点、
進水記念文鎮 1点
 - ⑧ 図書「黄海海戦ニ於ケル松島艦内ノ状況」 1点（1896（明治29）年出版）

舞鶴市 観光振興課 赤れんが博物館（松岡）

〒625-0036 舞鶴市字浜 2011

TEL: 0773-66-1095、FAX: 0773-64-5123

E-mail: renga@city.maizuru.lg.jp



SDGs 未来都市

【2】主な展示物紹介

① サウスシー城（イギリス・ポーツマス市）

- サウスシー城れんが
233×105×75 mm 2.9kg



画像 ポーツマス市

フランスの侵略から国を守るため、ヘンリー8世が1544年に建てた城で、ポーツマス港の入口に位置する。現在は、19世紀の外観に復元されており、観光名所となっている。

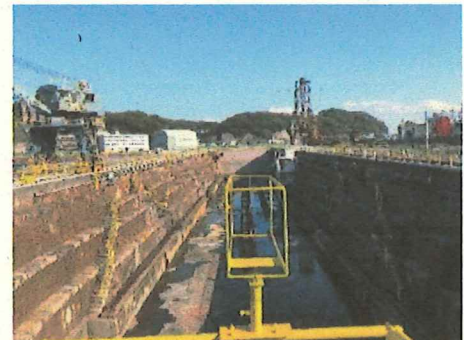
展示のれんがは、サウスシー城イースタンスイベルマウント砲台の発掘中に採取されたもので、1800年代に製造された。れんがの一番広い面「平面」にあるへこみには、れんがを接着していた石灰モルタルが付着している。

2023年舞鶴市・ポーツマス市姉妹都市提携25周年記念事業に招待されたポーツマス市名誉市長トム・コールズ氏により寄贈された。

② 住友重機械工業株式会社横須賀製造所(旧浦賀船渠株式会社) 旧浦賀工場「1号ドック」(神奈川県横須賀市)

- 旧浦賀船渠株式会社浦賀工場「1号ドック」施設れんが
223×105×59 mm 2.9kg

小菅集治監印



画像 住友重機械工業株式会社横須賀製造

浦賀地区における造船の歴史は、1853(嘉永6)年のペリー黒船来航を経験した江戸幕府が、洋式軍艦の建造を命じたことに始まる。浦賀造船所では初の軍艦「鳳凰丸」が建造され、「咸臨丸」の点検も行われたが、1876(明治9)年閉鎖された。

明治期になり、大型船が入るドックが不足し民間での造船が盛り上がる中で、1897(同30)年に浦賀船渠株式会社が設立され、1899(同32)年に1号ドックが完成。日本に現存するれんが造ドライドックとしては浦賀ドックが日本唯一となる。

浦賀船渠株式会社は、浦賀重工業を経て住友重機械工業となり、2003(平成15)年に閉鎖されるまでに1,000隻以上の船を建造、修理した名門といわれる造船所であった。2021(令和3)年、住友重機械工業浦賀工場跡地の一部(浦賀レンガドック)が住友重機械工業から横須賀市に寄附された。

展示の小菅集治監で製造されたれんがは、ドック敷地内施設で使用されていたもので、渠壁・渠底には根崎煉瓦合資会社(現・岡田煉瓦製造所)製造のれんがが使用されている。

舞鶴市 観光振興課 赤れんが博物館(松岡)

〒625-0036 舞鶴市字浜 2011

TEL: 0773-66-1095、FAX: 0773-64-5123

E-mail: renga@city.maizuru.lg.jp



SDGs 未来都市

③旧九条山浄水場沈殿池(旧大日山貯水池)

(京都市)

- 旧九条山浄水場沈殿池(旧大日山貯水池)れんが
220×105×59mm 2.8kg



岸和田煉瓦(株)
刻印



現在の旧九条山沈殿池跡地、宿泊施設が建設される。

旧九条山浄水場(旧大日山貯水池)は、京都御所の防火を目的として建設された御所水道(1912(明治 45)年完成)の施設。琵琶湖疏水を計画した田辺朔郎らにより設計された。疏水から取水した水を、大日山に設置した貯水池(大日山貯水池)に揚水し、京都御所で火災が発生した際に、高圧で送水する防火施設としての機能を有した。貯水池から京都御所までの標高差約 60 メートルを、約 4 キロメートルの鉄管で結んだ。

御所水道が京都市に譲渡され、水需要の増加に対応するために大日山貯水池は沈殿池に改造されて、1949(昭和 24)年、九条山浄水場として運転を開始。1986(同 61)年、施設の老朽化などから九条山浄水場は休止され、1988(同 63)年からは「水処理技術の実験プラント」として利用されたが 2004(平成 16)年に廃止された。沈殿池跡地には、沈殿池などの施設を活かした宿泊施設が建設される。

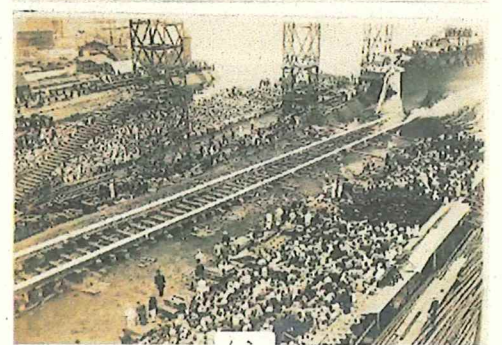
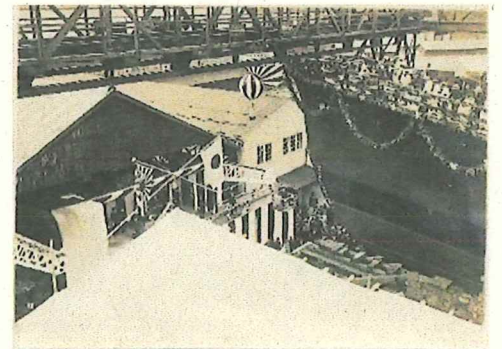
④東次郎吉氏所蔵旧海軍艦艇進水記念絵葉書、舞鶴要港部進水式招待状、旧海軍艦艇記録写真、進水記念文鎮



駆逐艦海風進水記念絵葉書



駆逐艦海風
進水記念文鎮



1936(昭和11)年11月27日 駆逐艦海風進水式写真

東次郎吉氏が、大正から昭和戦前にかけて舞鶴海軍工廠の技手を務めるかたわら収集した進水記念絵葉書などの旧海軍艦艇の進水式に関する資料群。



SDGs 未来都市

舞鶴市 観光振興課 赤れんが博物館(松岡)

〒625-0036 舞鶴市字浜 2011

TEL: 0773-66-1095、FAX: 0773-64-5123

E-mail: renga@city.maizuru.lg.jp